

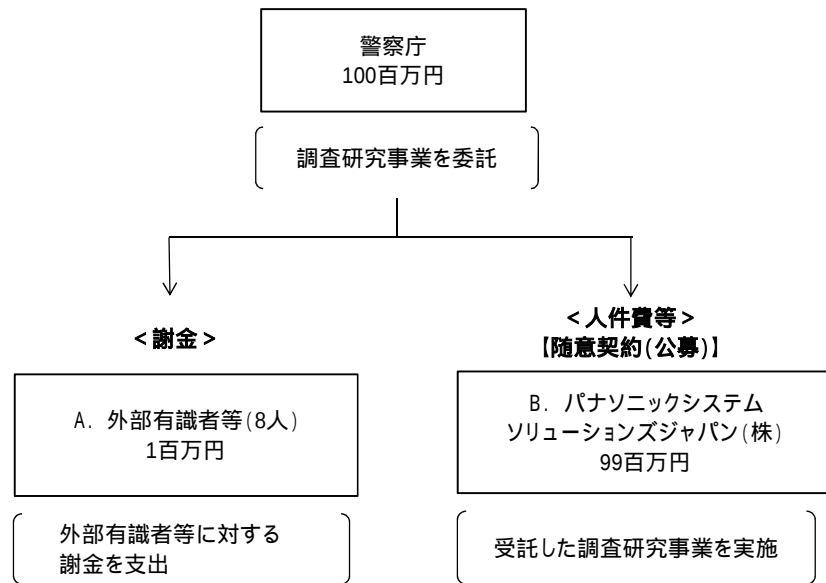
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	街頭防犯カメラシステムモデル事業	担当部局庁	生活安全局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成22年度	担当課室	生活安全企画課	生活安全企画課長 宮城 直樹				
会計区分	一般会計	施策名	1 市民生活の安全と平穏の確保					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	街頭防犯カメラの整備が十分に進んでいない地域における街頭防犯カメラの設置拡充を図るため、警察が設置・運用を進める上でのガイドラインを策定するための諸課題を検討するとともに、標準的な街頭防犯カメラシステムについての実証と開発を行い、各都道府県警察が設置・運用を進める上での環境を整備する。(2ヵ年計画の2年目)							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	法律、都市工学、画像情報処理等の専門家や、自治体、地域住民の代表等で構成される有識者研究会を設置し、調査・検討を行うとともに、有識者研究会における検討をより効率的に進めるため、研究会の下にワーキンググループを設置し、各テーマごとに専門的な検討を行う。また、神奈川県川崎市JR川崎駅東口地区をモデル地区とし、同地区に計50台の街頭防犯カメラを設置し、撮影対象空間の人や車両等の動きが、あらかじめ設定した範囲を超えた場合、激しい動きやい集等を異常行動として認知し、アラーム通報する機能やプライバシーに関する国民の不安を払拭する機能を装備した街頭防犯カメラシステムの実証・開発を実施する。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	103	104	-	-	
		補正予算	-	111	0	-	-	
		繰越し等	-	0	0	-	-	
		計	-	214	104	-	-	
	執行額		-	211	100	-	-	
	執行率(%)		-	99%	96%	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 都道府県警察による街頭防犯カメラの設置・ 運用を促進するための環境整備に関する報告 書のとりまとめ		成果実績	件	-	0	1	-
	(成果指標) 報告書数		達成度	%	-	0%	100%	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	防犯カメラシステムの設置・運用台数		活動実績 (当初見込 み)	台	-	50	50 (50)	- (-)
単位当たり コスト	311,926千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成23・ 24 年度 予算 内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁において執行しており十分に把握している。 2 見直しの余地 平成22年度は、平成21年度からの継続事業であったが、契約に当たっては、競争性を確保するため、公募の上、随意契約を実施した。今後とも、モデル事業等を実施する場合には、競争性の確保に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



A.外部有識者等			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	委員謝金	1			
計		1	計		0
B.パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費等	設置調整費、回線費、住民意識調査費	92			
物品購入費	集音装置、制御装置その他部品費	7			
計		99	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)	街頭防犯カメラシステムの実証開発及び調査研究	99	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

街頭防犯カメラシステムモデル事業フロー

警察が設置する街頭防犯カメラの目的

警察が設置・運用する街頭防犯カメラ(以下「街頭防犯カメラシステム」という。)は、公共空間における犯罪を予防し、被害を未然に防ぐとともに、犯罪発生時には犯罪を速やかに認知し、犯人の追跡や被害者の保護に向かうなど迅速・的確な対応に役立てること。

警察設置の街頭防犯カメラの現状

平成21年3月末現在、警視庁、大阪府警察をはじめ10都府県に総計363台設置されているが、繁華街等犯罪多発地区で、街頭防犯カメラの必要性が高い地区でありながら、未だ設置されていない地区が存在

限られた体制でも効果的な運用が可能なシステムが必要

必要な対策

国民の不安を払拭できるプライバシーの保護を強化した機器が必要

モデル地区(神奈川県川崎市J R川崎駅東口地区)における事業推進(2カ年)

標準的な街頭防犯カメラシステムの開発

スタンダード機能

異常行動検出機能

管理・運用権限別のアクセス権設定機能

プライバシー保護機能

オプション機能

警察活動に役立つ可能性のある機能
(開発段階の技術等)

○ 法的検討

○ 運用・効果検証

H
21

- スタンダード機能の警察活動の現場における効果検証
- 警察活動に役立つ可能性のあるオプション機能の効果検証

H
22

- 街頭防犯カメラシステム用アプリケーションソフトのバージョンアップ
- 平成21年度の実証実験の検証から得られた課題解決のための街頭防犯カメラの設置条件の変更
- コスト削減に係る検討

報告・意見

「警察が設置する街頭防犯カメラシステムに関する研究会」における検討

成果

- 街頭防犯カメラシステムの標準モデル(標準的価格・経費の盛り込み)
- 街頭防犯カメラシステム用アプリケーションソフト
- 街頭防犯カメラシステムの運用ガイドライン
- 街頭防犯カメラシステムの設置・普及についての意見書

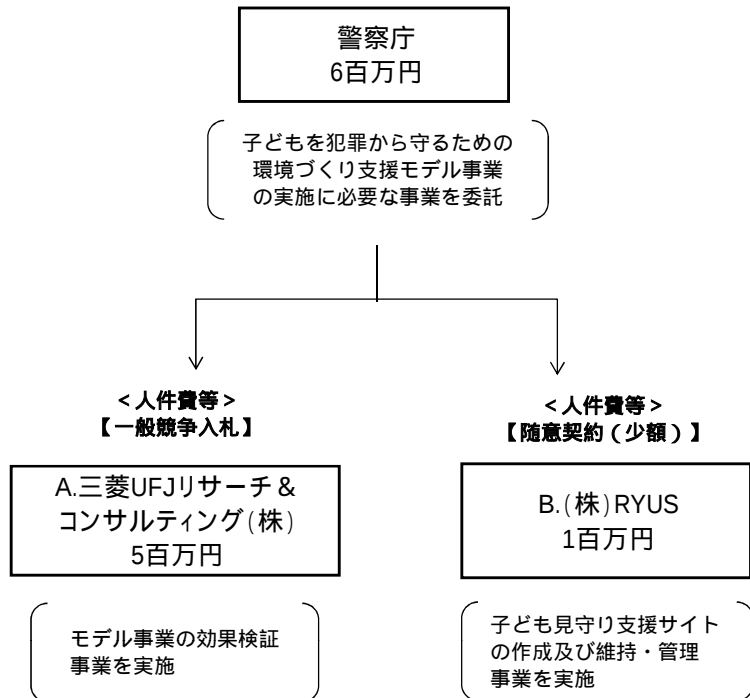
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	子どもを犯罪から守るための環境づくり 支援モデル事業	担当部局庁	生活安全局	作成責任者				
事業開始・ 終了(予定)年度	平成21年度～平成22年度	担当課室	生活安全企画課	生活安全企画課長 宮城 直樹				
会計区分	一般会計	施策名	1 市民生活の安全と平穏の確保					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	子どもを犯罪から守るための環境整備のため、通学路等のポイントとなる地点に防犯カメラを設置することで、子どもの見守り活動を支援するとともに、地域に根ざしたウェブサイト運営するといった様々な取組をモデル的にを行い、これらの効果検証を行うことにより、効果的かつ機能的に地域ぐるみで子どもを守るための取組みを全国に普及させようとするものである。(2ヵ年計画の2年目)							
事業概要 (5行程度以 内。別添可 い)	全国14都府県の15防犯ボランティア団体による通学路の見守り活動を支援するため、それぞれの地区において防犯カメラモデル事業を実施する。また、防犯ボランティア団体による情報発信、情報交換を行うための「子ども見守り支援サイト」を構築する。さらに、平成22年中におけるこれらの取組の効果を検証するため、防犯ボランティア団体構成員等へのヒアリング、アンケート調査等を行うとともに、防犯ボランティア活動に関する情報共有を実施するための成果発表会を開催するなどして、報告書を取りまとめる。							
実施方法	☐ 直接実施 ■ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	-	0	7	-	-	
		補正予算	-	582	0	-		
		繰越し等	-	0	0	-		
	計	-	582	7	-	-		
	執行額	-	335	6				
	執行率(%)	-	58%	86%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 防犯カメラを活用し地域ぐるみで子どもを守るための取組を普及させるための活動の在り方に関する報告書のとりまとめ		成果実績	件	-	0	1	-
	(成果指標) 報告書数		達成度	%	-	0%	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・防犯カメラの設置地区数 ・取組効果検証等		活動実績 (当初見込み)	地区	-	15	15 (15)	- (-)
			件	-	1	1 (1)	- (-)	
単位当たり コスト	340,355千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 モデル事業実施地区を所管する都道府県警察から定期的に事業の実施状況について報告を受け、確認していることから、支出先については把握している。また、モデル事業の効果検証及び子ども見守り支援サイトの作成等事業については、警察庁が直接契約していることから、支出先を把握している。 2 見直しの余地 一般競争入札により競争性の高い調達を実施している。今後とも、モデル事業等を実施する場合には、競争性の確保に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費等	モデル事業の効果検証事業	5			
	計		5	計		0
	B.(株)RYUS			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費等	サイト作成及び維持管理事業	1			
	計		1	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	モデル事業の効果検証事業	5	4	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

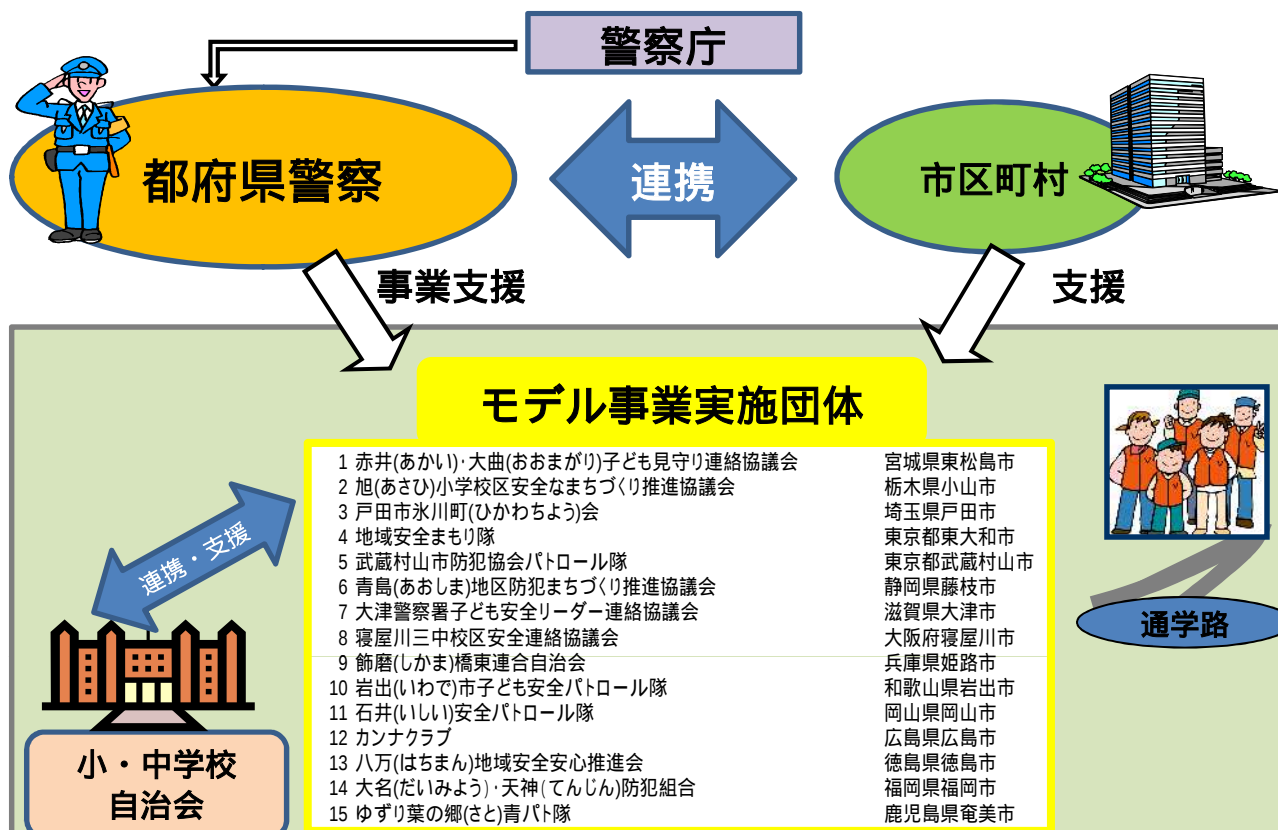
B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)RYUS	子ども見守り支援サイトの作成及び維持・管理事業	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

子どもを犯罪から守るための環境づくり支援モデル事業

目的

子どもを犯罪から守るための環境整備のため、防犯ボランティア団体の活動を支援するもの。



効果検証等事業

- 地域住民に対するアンケート調査
- 事業の効果検証

基幹事業

- 子ども見守り活動を補完する防犯カメラの整備
- 支援サイトの構築

+

提案事業

- 子ども110番の家の支援
- 地域安全マップの作成等支援
- その他子ども安全に係る施策への支援

平成23年行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	海外における児童ポルノのブロックキングの現状に関する調査研究		担当部局庁	生活安全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成22年度		担当課室	少年課		少年課長 千野 啓太郎		
会計区分	一般会計		施策名	1 市民生活の安全と平穏の確保				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	児童買春、児童ポルノに係る行為等の処罰及び児童の保護等に関する法律第14条第2項		関係する計画、通知等	児童ポルノの根絶に向けた重点プログラム				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海外においては、インターネット上の児童ポルノの流通防止のため、法整備も含め、既にブロックキングが先進的に行われている。そこで、我が国においてブロックキングを実施する上で参考となる様々な事項を明らかにし、インターネット上の児童ポルノの流通防止対策の推進に資するため、海外における児童ポルノのブロックキングの現状について調査研究を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	児童ポルノのブロックキングを既に実施している諸外国を調査対象国として選定し、各国におけるブロックキングの実施状況について、文献調査や調査対象国の政府機関、電気通信事業者、民間団体等の担当者へのヒアリング等を実施することにより、関係法令、推進体制、技術的な方式、ブロックキング導入の際の問題点等を明らかにする。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	6	6	-	-	
		繰越し等	-	0	0	-	-	
		計	-	6	6	-	-	
	執行額	-	5	5	-	-		
	執行率(%)	-	83%	83%	-	-		
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度
(成果目標) 各国における児童ポルノ流通防止のためのブロックキングの実施状況に関する報告書のとりまとめ		成果実績	件	-	0	1	-	
(成果指標) 報告書数		達成度	%	-	0%	100%	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	調査実施国数		活動実績 (当初見込み)	国	-	2	2 (2)	- (-)
単位当たりコスト	9,408千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が直接契約していることから、支出先を把握している。 2 見直しの余地 一般競争入札により競争性の高い調達を実施している。今後とも、調査研究等を実施する場合には、競争性の確保に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

警察庁
5百万円

(調査研究事業を委託)



<人件費等>
[一般競争入札]

A.(株)三菱総合研究所
5百万円

(受託した調査研究事業
を実施)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)三菱総合研究所			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	研究員	3			
	事業費	出張費、報告書製本費、翻訳費	1			
	調査費	韓国調査、ノルウェー調査等	1			
	計		5	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	調査研究事業	5	2	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

児童ポルノの根絶に向けた重点プログラムの概要

児童ポルノをめぐる情勢

氾濫する児童ポルノ

- インターネット上の児童ポルノの氾濫による、被害児童の苦痛の継続
- 児童ポルノ事件の増加

犯罪に強い社会の実現のための
行動計画2008

国民からの取締りの要望

児童ポルノに反対する国際文書の
相次ぐ採択

児童ポルノの根絶に向けた重点プログラム (平成21年6月)

取締り

警察庁における画像分析班の設置等による
情報分析機能の強化

職員の外国捜査機関の研修への参加等を通じた
新たな捜査手法等の導入の検討

- 外国捜査機関等との連携の強化
- 共(合)同捜査の推進
- 捜査態勢の強化
- サイバーパトロールや買受け捜査の強化
- 児童ポルノ愛好者グループの徹底検挙等

流通防止対策

児童ポルノ流通防止協議会での児童ポルノ
掲載アドレスリスト作成管理団体(仮称)の創
設やブロッキングの実施に向けた検討への
協力

児童ポルノ掲載アドレスリスト作成管理団体
(仮称)への情報提供

児童ポルノ掲載アドレスリストを活用した
更なる流通防止対策の検討

流通防止に向けた広報啓発活動

- インターネット・ホットラインセンターを通じた
削除依頼の継続的实施
- 検挙時の削除依頼等の徹底

被害児童支援

被害児童の発見・保護活動の強化に向けた
画像分析態勢の構築及び分析手法の検討

被害児童の心情に配慮した具体的聴取
手法の検討

児童ポルノ事犯等の特性を踏まえた被害
児童支援の在り方に関する検討

- 被害児童に対する継続的支援の実施
- カウンセリング態勢の充実
- 遠隔地に居住する被害児童の支援

注: ...警察として新たに取り組む施策
○ ...現在行っている施策を強化するもの

平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	子どもや女性を守るための匿名通報事業	担当部局庁	生活安全局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～平成23年度	担当課室	保安課	保安課長 加藤 達也				
会計区分	一般会計	施策名	1 市民生活の安全と平穏の確保					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	人身取引対策行動計画					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	少年福祉犯罪、児童虐待事案及び人身取引事犯の被害者となっている子どもや女性の早期保護等を図るため、対象犯罪に係る事件の発生を知った人が、警察に対する匿名性を確保しつつ通報できる制度として実施するものである。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	警察庁の委託を受けた民間団体が、市民からの匿名による事案情報の通報を受け、これを警察に提供して捜査等に活用するものである。 本事業は平成19年10月1日から運用を開始し、平成22年度で4年目を迎えている。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	40	21	21	16	-	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	40	21	21	16	-	
	執行額		18	18	20			
	執行率(%)		45%	86%	95%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 少年福祉犯罪等の被害者となっている子ども や女性の早期保護 (参考指標) 通報に基づく検挙件数		成果実績	件	8	1	5	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	通報受付件数		活動実績 (当初見込み)	件	318	1,277	1,536 (-)	- (-)
単位当たり コスト	20,271千円 / 年		算出根拠	年間執行額				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	人件費等	16	-	平成24年度以降、刑事局組織犯罪対策部へ事業移行。				
	計	16	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が直接契約しており、契約書及び納品書を確認する等して支出先を的確に把握している。 2 見直しの余地 インターネットによる受付を開始した結果、受理件数は大幅に増加しており、本事業は着実に成果を上げているものといえる。 また、一般競争入札により受託団体を決定しているところであり、引き続き競争性の確保に努める。		
	予算監視・効率化チームの所見		
		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(刑事局組織犯罪対策部へ事業移行)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

警察庁
20百万円

(匿名通報事業を委託)



<人件費等>
[一般競争入札]

A. 特定非営利活動法人
日本ガーディアン・エンジェルス
20百万円

(受託した事業を実施)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.日本ガーディアン・エンジェルス			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費等	通報受付業務等	20			
	計		20	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本ガーディアン・エンジェルス	匿名通報事業委託	20	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

子どもや女性を守るための匿名通報モデル事業 (通称：匿名通報ダイヤル) ~平成19年10月1日から実施~

情報提供者

0120-
924-
839



<http://www.tokumei.or.jp>



犯人を検挙してほしい

現に犯罪被害に遭っている子どもや女性を救ってほしい

でも警察には通報したくない

- ・身分を知られたくない
- ・捜査協力が面倒
- ・情報が風評

対象犯罪

少年の福祉を害する犯罪や人身取引事犯

(被害者本人からの申告が期待しにくく、潜在化しやすい犯罪)

都道府県警察において所要の捜査等を実施



都道府県警察

平成21年7月1日から電話に加えてインターネットでの受付運用を開始

情報提供者に受付番号を付与

受託団体から情報提供者へ情報料を支払(最高10万円)

受託団体



受託団体が受付番号及び情報料を支払う旨を専用サイトに掲載

情報提供者から受託団体へ匿名で通報

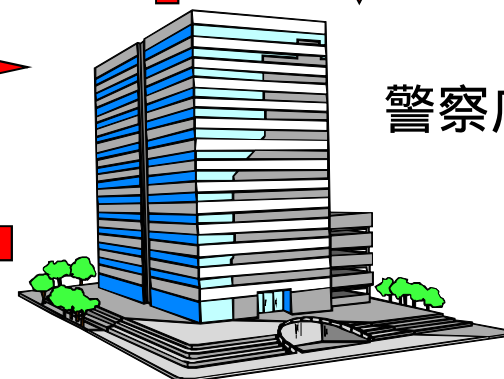
受託団体から警察庁へ情報を報告

警察庁から受託団体へ事件解決等に貢献した情報に係る受付番号及びその貢献度を通知

警察庁から都道府県警察へ情報を伝達

事件解決等の場合に警察庁へ報告

警察庁



警察庁において情報の貢献度を審査

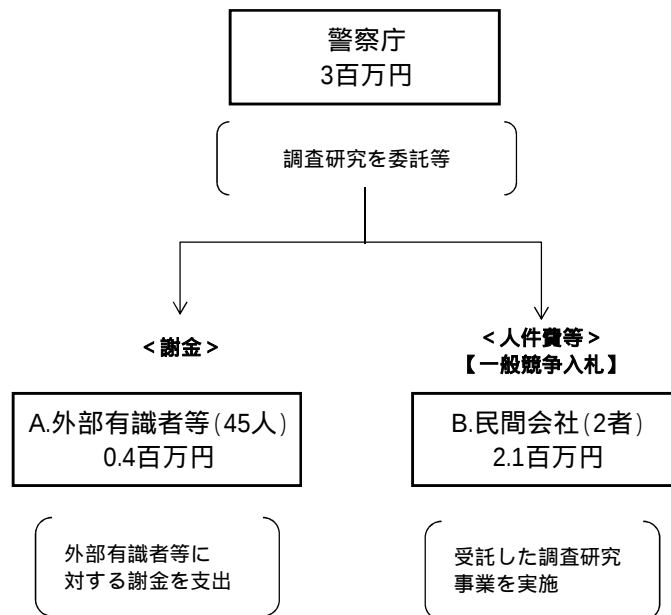
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	電車内における痴漢防止対策の推進	担当部局庁	生活安全局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度(単年度事業)	担当課室	生活安全企画課	生活安全企画課長 宮城 直樹				
会計区分	一般会計	施策名	1 市民生活の安全と平穏の確保					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	電車内の痴漢事犯は、しゅう恥心等から被害申告をしない者もいると予想されることから、犯罪統計だけでは測ることができない被害実態があると考えられる。また、通勤・通学に利用する電車の中で痴漢被害に遭った女性の中には、満員電車に乗ることができなくなったといった後遺症が残る場合もあり、こうした卑劣な犯罪を撲滅するため、電車内における痴漢事犯に特化した実態把握、対処方法の研究等を行い、電車内における痴漢を防止するための環境整備に向けた働きかけ等を促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	痴漢事犯については、国民の一般的な意識調査が行われていなかったことから、犯罪統計からは得られない国民の意識や環境における問題点について明らかではなかった。これらを明らかにするため、痴漢の被害実態、痴漢を目撃した際の対応実態、被害に遭わないための工夫・実践例、痴漢を発生させないためのアイデア等について、インターネットアンケートやグループインタビュー等を用いて国民の意識調査を実施するとともに、電車内における防犯カメラの効果を検証するための実験を実施し、鉄道事業者、部外有識者、関係省庁等から構成する研究会において検討を行う。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	5	-	-	
		補正予算	-	-	0	-	-	
		繰越し等	-	-	0	-	-	
		計	-	-	5	-	-	
	執行額		-	-	3	-	-	
	執行率(%)		-	-	60%	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 電車内における痴漢防止対策に関する報告書の取りまとめ		成果実績	件	-	-	1	-
	(成果指標) 報告書数		達成度	%	-	-	100%	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	電車内における痴漢防止に係る研究会の開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	-	3 (3)	- (-)
単位当たり コスト	2,538千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が直接契約していることから支出先を把握している。 2 見直しの余地 目的に沿った執行が行われており、その成果物も作成され今後の各種施策に活用されるものと認められる。 一般競争入札により競争性の高い調達を実施している。今後とも、調査研究等を実施する場合には、競争性の確保に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
	1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A.外部有識者等			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	謝金	委員謝金	1			
	計		1	計		0
	B.ニッセイエプロ(株)			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費等	電車内における痴漢事犯に対する意識調査	1			
	計		1	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ニッセイエブロ(株)	電車内における痴漢事犯に対する意識調査	1	5	
2	日立フィールドアンドファシリティ サービス(株)	電車内における痴漢被害を発生させない環境づくりに関する調査	1	3	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

電車内における痴漢防止対策の促進に向けた取組みの推進

(現状及び問題点)

- ・刑法犯認知件数が減少しているにもかかわらず、電車内における強制わいせつ認知件数、迷惑防止条例違反検挙件数は高水準で推移している。
- ・電車内の痴漢事犯において被害者供述の信用性を否定した無罪判決が出された事例もあり、このままでは被害申告をしても犯罪とならない、痴漢を目撃しても見て見ぬふりをするといった社会的気運を生み出しかねない。

基礎調査

国民の痴漢事犯に対する意識調査 (インターネットアンケート)

- ・痴漢の被害実態
- ・痴漢被害に遭わないための工夫・実践例
- ・痴漢を目撃した際の対応実態
- ・痴漢に間違われたいための工夫・実践例
- ・痴漢を発生させないためのアイデア

検挙被疑者の意識調査

- ・発生状況(時間帯等)の調査、分析
- ・被疑者に係る(動機、手口等)の調査、分析
- ・被害者に係る情報(車両内での位置、行動等)の調査、分析

電車内における防犯カメラ設置実験

- ・実際の車両を借り上げた上で、痴漢事犯発生時の電車の状況を踏まえ様々な性能の防犯カメラを設置して撮影し、発生抑止や犯罪捜査に効果的な防犯カメラを検証する。
- ・電車内の環境整備に係る費用対効果等を検証

「電車内における痴漢防止に係る研究会」による検討

～鉄道事業者、学者、国土交通省、警察庁等からなる研究会を設置～

- ・痴漢防止のノウハウ
- ・痴漢被害を発生させない環境づくり
- ・電車内の痴漢撲滅に向けた関係機関の在り方

「電車内における痴漢撲滅に向けた関係機関の在り方に関する報告書」の作成・公表

効果

- ・鉄道事業者等による痴漢防止環境づくりへの自主的な取組みの促進
- ・目撃者等の痴漢事犯捜査への協力
- ・学校、企業等による自主的な痴漢被害防止に係る取組みの促進
- ・調査研究による「痴漢を許さない」という社会気運の醸成

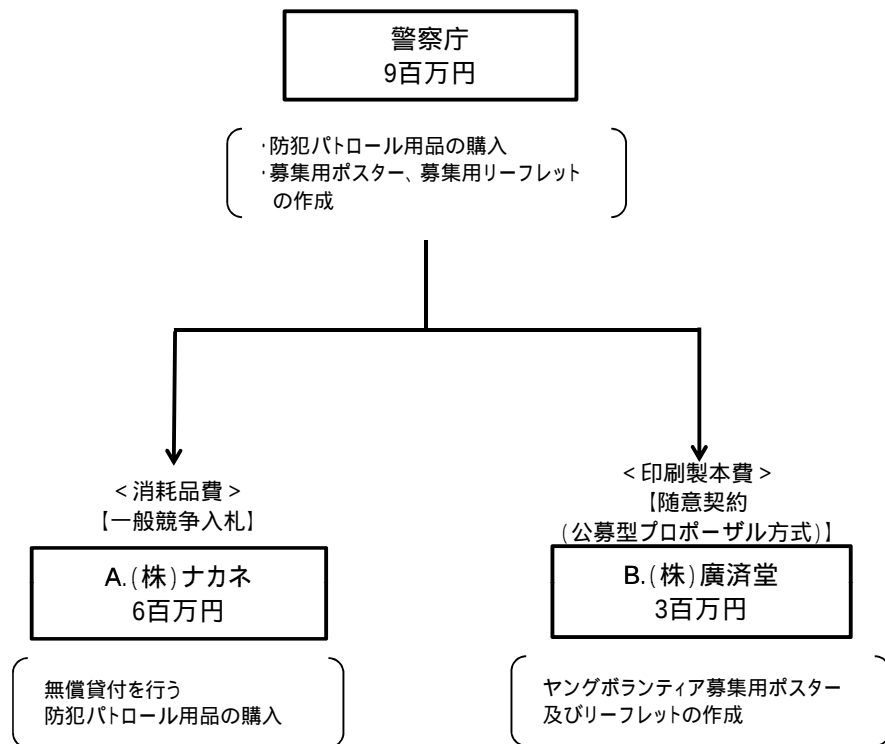
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	防犯ボランティア支援事業の推進	担当部局庁	生活安全局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～平成23年度	担当課室	生活安全企画課	生活安全企画課長 宮城 直樹				
会計区分	一般会計	施策名	1 市民生活の安全と平穏の確保					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	安全・安心なまちづくり全国展開プラン 犯罪に強い社会実現のための行動計画2008					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「犯罪の起きにくい社会」を実現するために、防犯ボランティア活動を幅広い世代の参加を得たものへと発展させ、地域のシステムとして定着化を図るとともに、活動の更なる活性化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自主防犯活動の一層の活性化と定着化を促進するため、活動拠点を設置して行われる自主防犯活動に対し、防犯パトロール用品の無償貸付や地域安全情報の提供などの各種支援を行い、また、大学生、短期大学生等の若い世代や会社員、公務員、自営業者等の現役世代による自主防犯活動への参加促進を図るため、自主防犯活動に関心のある者の募集、防犯ボランティア団体の結成方法や活動内容等のノウハウに関する説明会の開催、防犯パトロール用品の無償貸付等の支援を行う。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☒ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	65	59	10	7	-	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	65	59	10	7	-	
	執行額		51	43	9			
	執行率(%)		78%	73%	90%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 防犯ボランティア活動の活性化・定着化 (参考指標) 全国の防犯ボランティア団体の数(暦年)		成果実績	団体	40,538	42,762	44,508	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	支援の対象となる防犯ボランティア団体の数		活動実績 (当初見込み)	団体	169	200	47 (47)	- (-)
単位当たり コスト	8,416千円 / 年		算出根拠	年間執行額				
平成23・24年度 予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	印刷製本費	1	-					
	消耗品費	6	-					
計	7	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁において執行しており十分に把握している。 2 見直しの余地 これまでの事業により、全国の防犯ボランティアは団体数、構成員数ともに増加しており、防犯ボランティア活動をさらに幅広い世代の参加を得たものへと発展させる必要がある。 防犯/パトロール用品については一般競争入札、募集用ポスター及び募集用リーフレットについては、公募の上、随意契約をしており、競争性は確保されている。引き続き、競争性の高い調達の実施に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.(株)ナカネ			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	消耗品費	防犯バトロール用品	6			
	計		6	計		0
	B.(株)廣済堂			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	印刷製本費	募集用ポスター、募集用リーフレット	3			
	計		3	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ナカネ	防犯パトロール用品	6	7	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)廣済堂	募集用ポスター、募集用リーフレットの作成	3	4	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

防犯ボランティアに対する支援

目的

- ・ 地域における自主防犯活動の活性化と拡大を図るため、地域住民に対し身近で模範的な活動を示すことができる自主防犯活動の中核（地域安全安心ステーション）の整備を図る。
- ・ 自治体の行う防犯ボランティアに対する支援の一層の拡大を図る。

地域安全安心ステーションの機能

安全安心パトロールの出動拠点
地域安全情報の集約・発信拠点
自主防犯活動への参加促進を図る拠点

選定要件

- ・ 登下校時の保護・誘導など子どもの安全確保のための活動を推進している地区を指定

支援概要

- ・ 物品の貸与（ジャンパー、パトロールベスト、帽子、腕章、防寒着、防刃衣、停止旗等）
- ・ 研修会開催費、ボランティア保険への補助
- ・ 犯罪情報・地域安全情報の提供、防犯講習・防犯訓練等の実施、警察官との合同パトロールの実施等

実施地区（計800地区）

* 推進事業実施地区の指定実績

平成17年度	100地区
平成17年度追加分	131地区
平成18年度	100地区
平成19年度	100地区
平成20年度	169地区
平成21年度	200地区
計	800地区

連携



消防



学校



市町村



警察

支援



<参考>

自主防犯活動を行う団体数
約4万1千団体（20年末）
→約4万3千団体（21年末）

若い世代の参加促進を図る防犯ボランティア支援事業

課題

ボランティアの高齢化・固定化

構成員の平均年齢が60歳以上の団体が全体の約6割であるのに対し、構成員の平均年齢が20歳代以下の団体は1%にも満たず、自主防犯活動を活性化していく上で、防犯ボランティアの高齢化・固定化が大きな課題

事業の概要

自主防犯活動への参加意欲のある若い世代の参加者を募集し、団体の結成方法や活動のノウハウ等に関する説明会を開催して、団体の結成を支援。実施団体として指定された団体に対し、各種支援を行い、

● 若い世代の自主防犯活動への参加促進

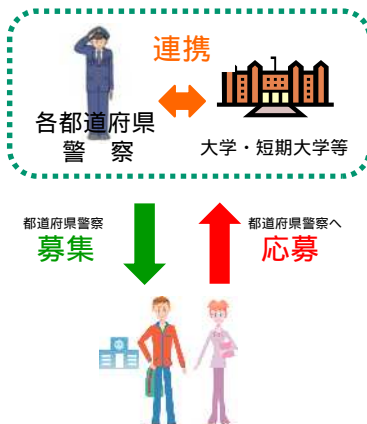
● 活動を通じた若年層の規範意識及び防犯意識の向上

を図り、若い世代の自主防犯活動の一層の活性化と定着化を促進。

事業の流れ

参加者の募集

大学・短期大学等に協力を求めながら、自主防犯活動の関心のある大学生等の参加者を募集。



団体結成等の支援

応募者に説明会等を開催し、防犯ボランティア団体の結成方法や活動ノウハウ等について支援。



各都道府県警察から警察庁へ実施団体として推薦

実施団体の指定・支援

実施団体に指定
(各都道府県1団体)

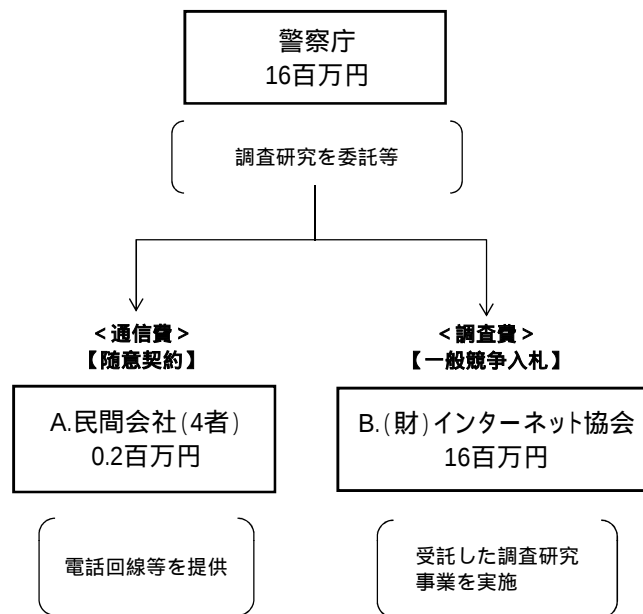


【支援内容】

- パトロール用品の無償貸付
帽子、ジャンパー、パトロールベスト、腕章、防寒着
(各50着を上限)
- 地域安全情報の提供
- 防犯講習等の実施
- 合同パトロールを通じたノウハウの伝授
- 他団体との合同活動の企画・実施
- 各種防犯イベントへの参加呼びかけ
- ヤングボランティアサミットの開催

事業所管部局による点検			
	評価	項 目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁が直接契約していることから、支出先を把握している。 2 見直しの余地 本事業は、インターネット上での児童ポルノの流通を防止するため、民間団体等と連携した流通防止対策を実施する上で参考となる業務実施マニュアル等を整備するための調査研究等であり、今後の我が国における児童ポルノ流通防止に資するものであったと認められる。 契約については、一般競争入札を行うなど、今後も競争性の高い調達の実施に努める。		
	予算監視・効率化チームの所見		
現状通り	1	支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。	
	2	改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。	
	3	レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者について記載する。費
目と使途の双方で実情が分かる
ように記載）

A.民間会社			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.(財)インターネット協会			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	調査研究	16			
計		16	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)インターネット協会	官民連携した児童ポルノ流通防止対策に係る調査研究	16	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

児童ポルノの根絶に向けた重点プログラムの概要

児童ポルノをめぐる情勢

氾濫する児童ポルノ

- インターネット上の児童ポルノの氾濫による、被害児童の苦痛の継続
- 児童ポルノ事件の増加

犯罪に強い社会の実現のための
行動計画2008

国民からの取締りの要望

児童ポルノに反対する国際文書の
相次ぐ採択

児童ポルノの根絶に向けた重点プログラム (平成21年6月)

取締り

警察庁における画像分析班の設置等による
情報分析機能の強化

職員の外国捜査機関の研修への参加等を通じた
新たな捜査手法等の導入の検討

- 外国捜査機関等との連携の強化
- 共(合)同捜査の推進
- 捜査態勢の強化
- サイバーパトロールや買受け捜査の強化
- 児童ポルノ愛好者グループの徹底検挙等

流通防止対策

児童ポルノ流通防止協議会での児童ポルノ
掲載アドレスリスト作成管理団体(仮称)の創
設やブロッキングの実施に向けた検討への
協力

児童ポルノ掲載アドレスリスト作成管理団体
(仮称)への情報提供

児童ポルノ掲載アドレスリストを活用した
更なる流通防止対策の検討

流通防止に向けた広報啓発活動

- インターネット・ホットラインセンターを通じた
削除依頼の継続的实施
- 検挙時の削除依頼等の徹底

被害児童支援

被害児童の発見・保護活動の強化に向けた
画像分析態勢の構築及び分析手法の検討

被害児童の心情に配慮した具体的聴取
手法の検討

児童ポルノ事犯等の特性を踏まえた被害
児童支援の在り方に関する検討

- 被害児童に対する継続的支援の実施
- カウンセリング態勢の充実
- 遠隔地に居住する被害児童の支援

注: ...警察として新たに取り組む施策
○...現在行っている施策を強化するもの

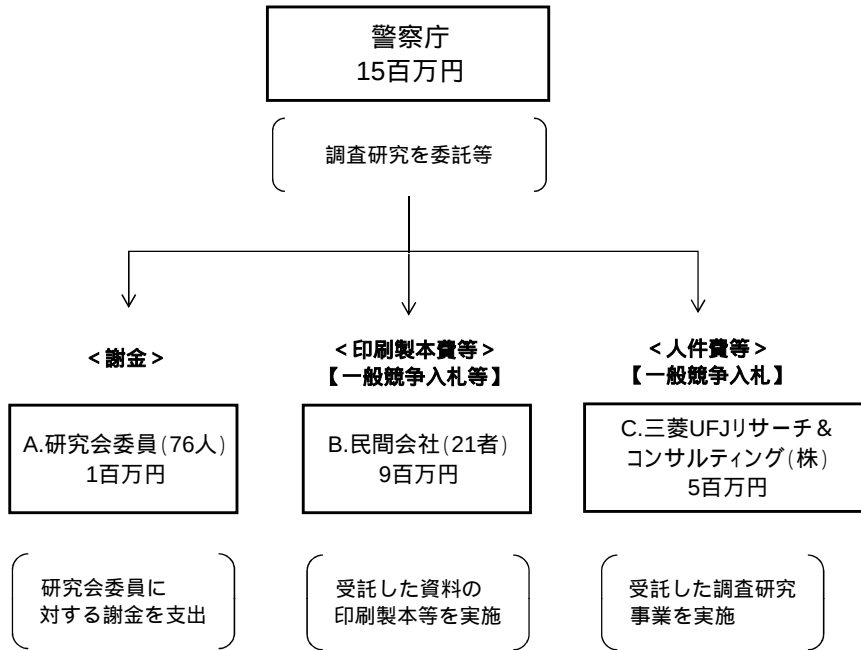
平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	犯罪情勢分析手法の高度化に向けた調査研究等	担当部局庁	生活安全局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	-	担当課室	生活安全企画課	生活安全企画課長 宮城 直樹				
会計区分	一般会計	施策名	1 市民生活の安全と平穩の確保					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	犯罪統計からは得られない犯罪の要因として推測される様々な社会事象と犯罪の増減との関連を明らかにするため、また、資料の収集項目や収集方法、資料の統計処理の方法について更なる高度化を図る調査研究を行うほか、各種資料作成等の事業を実施し、市民生活の安全と平穩を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被害者の生活状況等についてのアンケート調査及び実地調査を行い、その結果を踏まえ統計調査に関するノウハウを有するコンサルタント業者を活用しながら調査研究を行うとともに、部外有識者の知見を得ながら検討することにより、犯罪情報分析の高度化を図る事業を行っているほか、少年非行防止印刷物等各種資料作成等の事業を行う。							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	97	60	32	31	26	
		補正予算	10	3	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	87	57	32	31	26		
	執行額	73	46	15				
	執行率(%)	84%	81%	47%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 犯罪情勢分析手法の高度化に向けた調査研究の取りまとめ		成果実績	件	-	-	1	-
	(成果指標) 報告書数		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	犯罪情勢分析手法の高度化に向けた調査研究会の開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	0	3	3 (3)	- ()
単位当たりコスト	17,427千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	3	2	既定経費見直しによる減 わいせつ事犯取締り用可搬式ブルーレイディスク再生機の整備終了に伴う減				
	印刷製本費等	28	24					
	計	31	26					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 警察庁において執行しており十分に把握している。 2 見直しの余地 市民生活の安全と平穏を確保するためには効果的であることから、同様のモデル事業、調査研究、委託事業等を引き続き実施する必要がある。 個々の事業の実施にあたっては、一般競争入札や仕様・単価の見直し等により、引き続き競争性の高い調達の実施に努める。		
	予算監視・効率化チームの所見		
現状通り	1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2 改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
	平成24年概算要求に当たり、既定経費の見直しを行い、要求額を削減した(削減額:1百万円)。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.研究会委員			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	謝金	委員謝金	1			
	計		1	計		0
	B.(株)ジャパックス			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	印刷製本費	少年非行防止印刷物	3			
	計		3	計		0
	C.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費等	犯罪情勢分析手法の高度化に向けた調査研究	5			
	計		5	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジャパックス	少年非行防止印刷物(B 2・B 3)外	3	4	
2	ヨシダ印刷(株)	少年警察統計資料	1	5	
3	竹田印刷(株)	少年非行防止資料	1	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	犯罪情勢分析手法の高度化に向けた調査研究	5	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					